



やなぎっ子

さいたま市立片柳小学校

TEL 048-683-3174

FAX 048-683-8971

<https://katayanagi-e.saitama-city.ed.jp/>

校長 五十嵐 公明

～ のりしろ ～

昼間の暑さも和らぎ、夜になると心地よい風が吹いたり、虫の鳴き声が聞こえてきたり、季節は秋に向かって確実に進んでいることを感じさせてくれます。

以前、「目の前の仕事は逃げていかないけれど、君の大切な人は逃げていってしまうよ。たいがいにして帰りなさい。」夜遅くまで仕事をしている教員に言いました。

教材研究や日記、ノートの評価、教室の掲示物や校務分掌の事務処理等、「子どものため」と考えると、私たちの仕事には「切り」というものはありません。退勤後も、自分の子を寝かしつけた後で、翌日の授業の準備をしたり、テストの採点をしたりしています。全国的に教員の精神疾患や体調不良が増加し続けているという統計を見ると、校長として、職員の健康管理は喫緊の課題ですが、これといった妙薬がないのが現状です。

長谷川英祐著「働かないアリに意義がある」には、働きアリといっても、全てのアリが労働しているわけではなく、7割ほどのアリは普段は何もしていないと記述されています。これは、ハチでも同じことが考えられるそうです。巣にえさを運んだり卵を守ったりするために普段からせっせと働くアリ以外に、これらのアリは、豪雨や巣の崩壊に遭った時、急ぎ修復する作業のために活躍をするそうです。「組織とは、そういう余力を残していないと長続きしない。」と、筆者は述べています。

また、「のりしろ」という言葉があります。文字通り、紙などを貼り合わせる時に糊をつける部分のことです。その面積が小さいといくら強力な糊を使っても、すぐに外れてしまいます。のりしろが大きすぎると、無駄な部分が出てきて不具合が生じてしまいます。そこから転じて、融通を利かせて柔軟に対応できる幅のような意味に使われています。学校という職場で働く職員にも、「のりしろ」が必要です。職員同士の「のりしろ」がないとくっつかず、組織が脆弱になります。戦国時代の弓矢も同じようです。日々弓を張っていると、いざという時に弓がしなって使えなくなるそうです。私も以前、フォークギターの弦を張りっぱなしでネックが反ってしまったことがあるから納得です。つまり、張りっぱなしではなく、緩めること「のりしろ」も大切だということだと思います。

私たちは、子どものかわいい表情や姿を見て、うれしくなったり笑ったりします。日々の生活の中で、我々教員がそんなゆとりをもって子どもたちと接することができれば、より機動的な組織づくりをすることができると考えます。私の課題です。

冒頭の教員は、いくら注意してもなかなか帰ろうとしないので、「いくらやっても、我々の仕事には残業手当はつかないぞ。」と言うと、にこっと笑って、「お金のためにやっているではありません。」と返してきました。きっと「のりしろ」を見つけたかもしれません。